

国際交流 もりおか



MORIOKA INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION

[発行] 公益財団法人盛岡国際交流協会 〒020-8530 岩手県盛岡市内丸12番2号 盛岡市役所本庁舎1階

[TEL] 019-626-7524 [FAX] 019-622-6211 [URL] <http://www.mira-morioka.com/> [E-mail] info@mira-morioka.com

第23回中学生ビクトリア市研修を終えて

盛岡国際交流協会が毎年この時期に行っている中学生ビクトリア市研修。23回目となった今回は、10月29日(土)～11月5日(土)までの日程で実施されました。

中学生による国際交流コンテストで選出された15名の団員は、9月10日から4回にわたって開催された事前研修にて日本・盛岡の衣食住に関するプレゼンテーションを制作。生徒の受け入れが5年連続となった、ゴードンヘッドミドルスクールの全校生徒約350名を前に、堂々と発表を行い、高い評価を頂きました。プレゼンテーション中の説明に真剣に耳を傾け、クイズやファッションショーは大盛り上がり。進んで手を挙げる生徒が多く、団員たちの緊張も和らいだようです。

また、研修中にはリサ・ヘルプス市長を表敬し、環境やビクトリアの食材、代表的な場所などの質疑応答も行われました。

市長表敬には、現地のビクトリア盛岡友好協会か



ビクトリア市役所でリサ・ヘルプス市長を表敬

ら、ウィリアム・マクレディ会長をはじめ、姉妹都市交流の礎を築いてくださったディック中村前会長ら、多くの関係者が駆けつけ、心温まる表敬が実現しました。

研修団員は、ホスト学校での授業参加やホームステイを経験し、日本の学校とは全く異なる自由な雰囲気のある学校と、他民族国家ならではの多様性に富んだホストファミリーそれぞれの文化にも触れることが

できました。10月31日がハロウィンであったため、学校では先生や生徒の個性に富んだ仮装を見ることができました。ホームステイ先で“Trick or Treat”を体験した団員も多く、イベントを体験する貴重な機会となりました。

帰国後は、毎週土曜日に事後研修を行い、11月26日(土)研修報告会での発表をもって今年のビクトリア市研修も無事終了しました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



ホスト校のゴードンヘッドミドルスクールにて

EVENT REPORT

8月22日～10月3日

英語通訳講座

毎回定員をはるかに上回る参加希望を頂くほど人気の高い英語通訳講座を今年も開催しました。

その人気に応える形で、今年度は夏冬2回の開催となりました。その1回目が8月22日から10月3日までの月曜日、全6回を通して行われました。講師はブコの翻訳・通訳者として活躍される傍ら、東京の通訳学校で後進の育成にも尽力されている上村康子先生。

日常会話以上の皆さんを対象とした講座では、日本語から英語、英語から日本語への翻訳という課題が毎回出され、最後には盛岡のおすすめスポットというテーマで、スピーチ発表が行われました。参加された皆様の中には、仕事で英語を使う方も多く、忙しい仕事の合間をぬって真剣に取り組む姿勢が印象的でした。レベルの高い授業の中では、参考書を使った通訳の練習や、“日々の精進”の重要性を、ユーモアを交えて教えていただきました。

次回の開催は2月から3月を予定しています。詳しくは、盛岡国際交流協会ホームページにてご確認ください。



毎回大人気の英語通訳講座

7月～8月中旬

フランス語講座

これまで勉強したことが無い方でも気軽に参加することができる語学入門講座では、7月から8月中旬にかけて「かんたん！フランス語入門講座」を開催しました。フランス出身のセバスチャン・エチエバン先生から、フランス語でのローマ字の読み方や、数字の数え方、発音、買い物で使える会話などを全6回に渡り学びました。

日常生活では触れることのできない、フランス文化の紹介もあり、受講生はフランス語独特の発音の難しさに苦勞しながらも、挨拶を交わしたり、ロールプレイングで会話を練習したりなど楽しい講座となりました。

次回はスペイン語講座を予定していますので、お楽しみに！



MIRA イベント各種ご案内

語学文化講座【スペイン語】 1/21～2/25 毎週土曜日全6回

英語通訳講座【2回目】 2/2～3/9 毎週木曜日全6回（申込締切 1/13 消印有効）

留学生のつぶやき

岩手大学 大学院連合農学研究科 博士課程3年次 留学生 ナロンサック・ピシャヤスピットさん（タイ出身）

バンコクから参りましたナロンサック・ピシャヤスピットです。ニックネームのエムで呼んで頂ければ嬉しいです。

私はずっと幼いころからタイで流行っている日本のアニメや漫画という世界に囲まれ、アニメや漫画を通じた日本の文化、食文化、観光、日本人の生活などのおかげで日本のことを大好きになり、大きくなったら是非日本に行きたいなというのは私の幼いころからの夢でした。

そんな夢を持ち、タイの大学のときにやっと私が大好きな日本に行く夢を叶え、大阪に交換留学生として日本に来られました。

実際に来日し、日本の社会で暮らし、日本人と触れ、日本文化や祭りなど体験でき、日本のことを更に百万倍ほど大好きになり、タイに戻った後にも、また日本に留学に行って長く日本に暮らしてみたいな、という希望を持ちました。

しかし、家族にはお金の余裕が無く、日本に留学したくても難しかった為、日本大使館推薦という国費留学生の試験を何度も受けましたが、競争率が高く無理でした。



材木町よ市：岩手大学の先輩である宮沢賢治と
岩手の農家さんたちの素晴らしさを感じて。

そこで、大学を卒業した後5年間社会人として勤めながら頑張って、2011年についに日本へ留学するのに使うお金を貯めることができました。

今回は大都会の生活より勉強に集中できる落ち着くところの方が良いと思いましたし、更に私は農業国のタイ出身なので農業に関して興味を持ち、農業経済ということを知りたいと思いました。

日本人の友達が「農業の勉強なら岩手大学が有名だよ」と教えてくれ、場所も大都会と違って落ち着きますし、私の希望に合うので、農業経済を勉強するために岩手大学への留学を決めました。

今回の留学も思った通り良くて、日本は何年経っても相変わらず素晴らしい国だなと感じています。

お金がなくて、タイの日本に留学する奨学金の試験に失敗していた私でも、日本留学の夢を実現できたので、日本留学の夢を持っている方は、きっと誰でも頑張れば夢は叶うと思います。



合宿にて：学校外でいろいろな年代の友達と交流し、
かけがえのない思い出に。

ビクトリア盛岡友好協会前会長、市長表敬

9月14日、ビクトリア盛岡友好協会の前会長を務められたバーバラ・キャメロンさんがご主人のギャビン・キャメロンさんと共に谷藤裕明盛岡市長を表敬されました。表敬では、リサ・ヘルプス、ビクトリア市長からの親書とお土産を谷藤市長に手渡し、長年ご夫妻と親交のある市民の皆さんもお集まりいただいた中での、和やかな会談となりました。

午後には秋祭りパレードへ参加され、滞在中は岩手の大自然や食文化、地元の盛岡ビクトリア友好協会の方々

との歓迎パーティなど、ご主人のギャビンさんは初めての盛岡、そしてバーバラさんにとっては5回目となる盛岡の滞在をアクティブに過ごされました。

盛岡とビクトリアの姉妹都市関係は昨年30周年を迎え、ますます交流が活発になる中、地元盛岡の友好協会の皆様、そして姉妹都市ビクトリア市にあるビクトリア盛岡友好協会から盛岡を訪れてくださる皆様が、姉妹都市の友好関係を支えていることを、改めて認識する素晴らしい機会となりました。



市長表敬にて



秋祭りパレードにて

ホストタウンプロモーション始動

2020年の東京オリンピックを契機に、日本全国で活発化しているホストタウンプロモーションが盛岡市でも始動しました。盛岡市は、カナダ、ビクトリア市との30年以上に渡る姉妹都市交流を基盤に、カナダの各競技団体へのキャンプ地として盛岡広域圏への誘致活動を展開します。当協会の常務理事、岩手県日本カナダ協会会長、盛岡市のスポーツ関係団体の有識者からなる交渉チームが10月30日から11月5日にかけて、ビクトリア市、カルガリー市、バンクーバー市を訪れ、関係団体の担当者へのプロモーションを行いました。設備として国際基準を満たしていないなどの局面もある中、盛岡をピアールする貴重な機会となり、直接現地へ赴き熱意を伝えたことに歓迎を受け、今後の交渉に向けての第一歩が踏み出されました。



プロモーションビデオで盛岡を紹介

平成28年度・29年度賛助会員募集中!!

当協会は賛助会員を随時募集しています。会員になると当協会が主催する語学講座の先行申込みや参加費の割引などが受けられます。

国際交流に興味のある皆さん！ぜひ私たちと一緒に身近な国際交流を始めてみませんか？

●年会費（4月～翌年3月まで）

個人：1,000円

団体：10,000円 ※自動更新ではありません。



盛岡国際交流協会
キャラクター
モリーラ